

○ 中学校社会 第3学年 ②

「現代社会の見方や考え方」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関 意 態	思 判 表	知 技 理
(1)	<p>提案された割当表Ⅱについて、「手続きの公正さ」については反映されていることを踏まえた上で、「結果が公正であるところ」及び「効率という観点からみて不十分であるところ」について、具体的にその内容を指摘する問題である。</p> <p>効率と公正の概念を理解した上で、それを実際の生活事例について適用する力が必要である。</p>	<p>「公民的分野－内容(1)私たちと現代社会－イ現代社会をとらえる見方や考え方」についての活用問題である。</p> <p>本単元は、学指導要領の今次改訂にともなって新設された内容項目であるが、「人間は本来社会的存在であること」に着目させ、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせ、現代社会をとらえる見方や考え方</p>		◎	○
(2)	<p>具体的な提案事例について、「どのような議題を設定すれば、本事例における課題が解決できるか」を考える問題である。</p>	<p>方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解させる」ことをねらいとしている。</p>		◎	○
(3)	<p>本事例について、「結果の公正さ」や「効率」の視点から、みんなが納得できるよりよい提案はどうあれば良いかを、実際に考える問題である。</p> <p>現代社会を見る視点としての「効率と公正」について十分に理解した上で、それを実生活に適用する力が必要である。</p>			◎	○
(4)	<p>小問(1)～(3)の事例をふまえ、みんなが納得できるような解決策をつくるための視点や方法について考えを整理させる問題である。</p> <p>実際の社会生活において欠かせない視点であり、よりよい社会づくりへの関心や態度に基づいて考えを整理することが必要である。</p>			◎	○